



世界に希望を生み出そう

会長 佐藤 友彦 幹事 櫻井 武志

事務所:神奈川県足柄下郡湯河原町宮上 566 湯河原温泉観光協会

TEL 0465(64)1234 FAX 0465(63)1716 例会場:ニューウェルシティ湯河原 例会日:毎週金曜日 12:30~13:30

## 会長挨拶

佐藤 友彦

皆さん、こんにちは。今月はロータリーの友月間です。先週の例会で自己の成長を求め、改めて勉強していきますとお話ししましたので、事前にロータリーの友を読んでまいりました。ロータリーの友7月号にゴードン R. マッキナリーRI 会長のメッセージが掲載されていました。ロータリーは会員と世界の人々のために動き、恒久的な平和を築くために尽力するとあります。また、一人、一人が心の平安を築くことで世界に平和をもたらすことが出来るようになるとも話されています。世界に目を向ければ数多くの団体や機関が世界平和を唱えています。しかしながら、戦争や紛争が起きているのが現実であり、それらの大きな原因としては昨今のロシアのウクライナへの侵略を代表に資源や領土、領海といった国益に直結するものとイスラエル・パレスチナのように思想や宗教的な要因のものです。これらの事は国家及び国際機関レベルでも解決は容易ではなく我々、個人間での交流や各諸団体が進める民間外交では解決という点では厳しいかもしれません。しかしながら、個人間での交流や諸団体における民間外交は相互理解を深める点では非常に有益だと考えます。その点から鑑みると一人一人が心の平安を築くという事は崇高なことであり世界に広く波及するべき事であると思えます。

では、心の平安とは？と考えた時に私は一人一人が幸せであると認識する事だと考えます。余談ですが世界で一番幸福だと感じている国民が多いとされるランキングでは1位はブータン王国です。我が国日本は43位だとそうです。幸福を考え時に当然ながら金銭や物資的要件で幸せを感じる事もあると思いますし、心の作用といった所謂ソフト面にて幸せを感じる事もあると思います。そのような中で人間の幸せとは4つあると書かれた本を以前読みましたのでご紹介いたします。日本理化学工業の大山元会長の【働く幸せ】の道ものですが、次の通りに示されています。

- ① 人に愛されること
- ② 人に褒められること
- ③ 人の役に立つこと
- ④ 人から必要とされること

たしかに4つの事を大切に日々過ごしたならば、幸せだろうなと改めて感じたので皆様にお伝えしご挨拶に代えさせていただきます。ありがとうございました。

## 幹事報告

ガバナーより

1. 2023~24年度 社会・国際奉仕委員長研修会のご案内  
日時:11月11日(土)14:00~16:30(13:30 より登録開始)  
場所:アイクロス湘南(カンファレンスルーム 6階 E号室)  
※準備の都合上10/10(火)までにご都合をお知らせ下さい。  
※社会・国際奉仕委員長でなくても各クラブ 2名の参加をお願いいたします。

2. ポリオデーチケットご購入のお願い

10月25日(水)、ポリオデーキャンペーンを開催いたしますが、当日のチケット申込書のご案内をお送りいたします。申込枚数をクラブで取り纏めていただき、ガバナー事務所宛て、9月30日までにご送付いただけますようお願いいたします。

3. ポリオデー向けポロシャツ販売のご案内

10月25日(水)ポリオデーキャンペーン開催にあたり、ポリオデー向けポロシャツ販売のご案内をお送りいたします。申込枚数をクラブで取り纏めていただき、ガバナー事務所宛て、9月30日までにご送付いただけますようお願いいたします。

連絡事項 無し

## スマイルボックス

室伏学君

葉会員のご紹介で、大手事務機器メーカー様から湯河原温泉旅館協同組合に大量のアルコールディスペンサーを寄贈いただきました。ありがとうございました。

青木義美君

先週例会、ドタキャンごめんなさい。

## 出席報告

ゲスト 0名 ビジター 0名  
会員 22名 欠席3名(免除者0名)  
出席率 86.36%  
前回の修正出席率 86.36%  
前々回の修正出席率 95.00%  
事前メイクアップ 2名

皆さまこんにちは。9月3日(日)、湯河原町の各地区にて防災訓練が実施されました。宮下区では避難誘導訓練、避難所テント設営訓練(間仕切りセット、避難ルーム設置・撤去)、土のうづくり訓練、初期消火訓練、応急救護、救出訓練、可搬ポンプ使用訓練、防災倉庫の確認などを区民とともに行いました。そのような時期もあり、今回は「大規模地震」「強い台風・豪雨」の2つのテーマでお話させていただきます。

## 1. 大規模地震について

さて、今年に関東大震災100周年にあたります。世界有数の地震・火山国である日本では、関東大震災からの100年間で数々の大地震や火山噴火に見舞われてきました。

まず関東大震災の被害状況について概観いたしますと、本震は1923年9月1日午前11時58分、相模湾北西部を震源として発生しました。推定されるマグニチュードは7.9、首都圏の広い範囲が震度7～6強相当の揺れに見舞われたといわれております。東京や横浜では地震直後から大規模火災に見舞われ、10万人以上とされる死者の9割が焼死であったといわれています。また震源から至近距離にあった神奈川県西部も大きな被害を受け、真鶴村で200名、岩村で137名、福浦村84名、吉浜村295名、土肥村76名、片浦村783名、小田原町2,292名(自治体名はいずれも当時)の死者・負傷者・行方不明者が記録されています。

それからの100年間で、震度4以上の地震は全国で3377回、特に最大震度7を記録した大地震は6回、震度6強は17回発生しています。震度の基準が変わった1997年から数えますと、震度6強以上の大地震は約440日に1回発生しています。そもそも日本列島は4つのプレート(岩板)が複雑に重なり合う形で構成されており、世界で起こるマグニチュード6以上の約2割が発生しているといわれています。中でも「海溝型地震」と呼ばれる地震はマグニチュード8～9クラスの巨大地震の発生も予想されており、特に駿河湾から日向灘沖を想定震源域

とする「南海トラフ地震」は、30年以内の発生確率が70～80%、死者数23万1000人、被害総額207兆8000億円と想定されており、発生すればまさに国難と呼ぶべき災害になることでしょう。今回、関東大震災の被害状況や、関東大震災以降の100年間に発生した地震のデータをまとめた資料をお手もとに配付いたしましたので、ご確認ください。

## 2. 強い台風・豪雨について

災害について、地震と同様、台風や豪雨への備えも重要です。この100年で急速に進んだ地球温暖化の影響から、台風の巨大化や豪雨の激甚化が懸念されています。中でも最近は、同じ場所で積乱雲が次々と形成され、大雨を連続的にもたらす「線状降水帯」が注目されています。近年の大規模な気象災害としては、2017年11月の九州北部豪雨(死者・行方不明者42人)、2018年7月の西日本豪雨(同271人)、2019年10月の台風19号・令和二年東日本台風(同108人、被害総額1兆8839億3700万円)が挙げられますが、湯河原とその周辺地域においては、2021年7月の熱海市伊豆山地区土石流災害が記憶に新しいところです。この土石流災害をもたらした大雨(2021年7月1日～4日における湯河原町の総雨量:527ミリ)は、千歳川護岸の崩落をはじめとする土砂崩れを町域各所で発生させました。お手もとに被害が発生した箇所についてまとめた地図を配布いたしましたので、ご確認ください。

最後に、もしも今湯河原に大地震が起きたらどうなるでしょうか。そのとき、真夜中だったら。そのとき、一人で居たら、何ができるでしょうか。その答えは、想像することが始まりであると思います。湯河原町では津波や土石流、ガケ崩れの危険性を示した「湯河原防災マップ」を発行していますので、こうした資料から正しい知識を得ることが重要です。さらにこのような事態に直面したらどうするか、家族やご近所さんと話し合い、共有することも大切です。ひとつひとつは小さなことかもしれませんが、それらがすべて、あなたを災害から守る盾となってくれるはずです。

ご清聴ありがとうございました。